

海況・魚群速報(別府湾・国東半島沖合の海洋調査結果)

平成21年3月4日
大分県農林水産研究センター
水産試験場

県水産試験場の調査船「豊洋」による別府湾・国東半島沖合の海洋調査結果は、次のとおりである。

調査日： 3月2-4日

【海況】

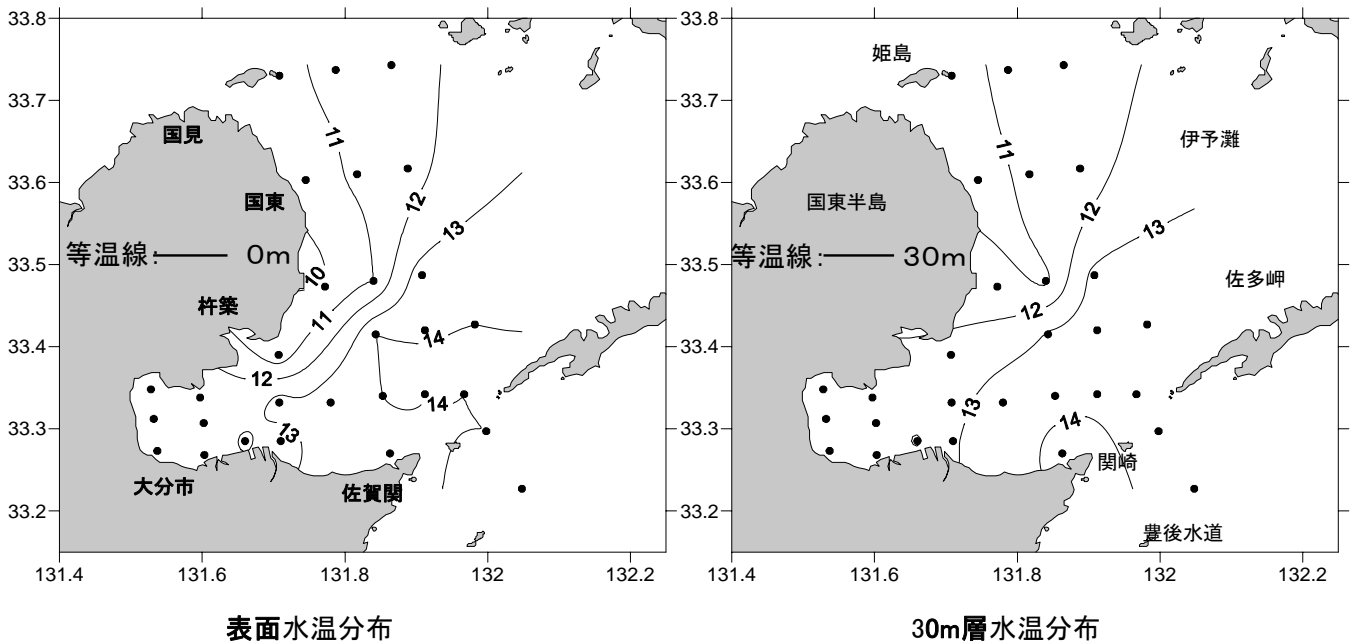
(別府湾の平均水温)

海域	水層	今月	前月差	前年差	平年差
別府湾	表面	12.7	+ 0.3	+ 0.5	+ 1.6
	底層(-30m)	12.7	- 0.1	+ 1.0	+ 1.8

(国東半島沖合の平均水温)

海域	水層	今月	前月差	前年差	平年差
国東半島 沖合	表面	12.0	+ 0.4	+ 0.3	+ 0.7
	底層(-30m)	12.2	+ 0.0	+ 0.8	+ 0.8

(水温分布)



「海況概要」

水温は別府湾で高め、伊予灘でやや高め。

別府湾・国東半島沖合の表面水温は10～14℃台を示し、別府湾では前年より0.5℃高めで、平年より1.6℃高め。国東半島沖合では前年並み(+0.3℃)で、平年より0.7℃高めであった。

水深30m層は10～14℃台を示し、別府湾では前年より1.0℃高めで、平年より1.8℃高め。国東半島沖合では前年より0.8℃高めで、平年より0.8℃高めであった。

(黒潮情報：漁業情報サービスセンター)

3月4日の観測によると、九州東岸沖の黒潮内水温は21～22℃を示し、前年同期よりも1～2℃高め。黒潮は日向灘沖を蛇行気味だが、概ね都井岬・足摺岬沖で接岸している模様。

【魚群分布】

s21-3号

主な魚群の出現状況は、下表及び下図のとおりである。

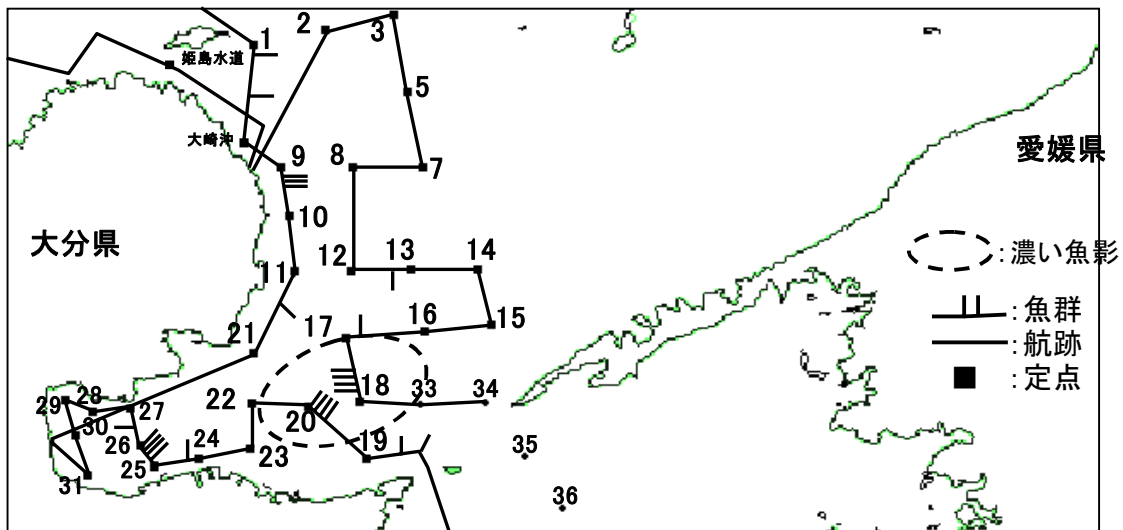
魚群の出現数は、昨年同期の調査と同程度であった(但し、調査船直下の観測による範囲内)。

(魚群の出現状況)

日	時刻	魚群の状況					水温 °C	水深 m	魚の体長* cm
		位置	大きさ	出現個数	反応水深(m)*	密度			
3/2	10:29	st. 19付近	小、中	多	0-60	淡	14.3	38-60	0-10
3/2	11:05 ~	st. 19-20	小、中	多	0-40	淡、中	13.9	45	0-40
3/2	11:50	st. 24-25	中	1	5-20	中	12.4	43	14-28
3/2	13:08 ~	st. 25-26	小、中	多	55	淡、中	12.4	55	4-56
3/2	13:27	st. 26-27	中	1	42	中	12.5	42	20-100
3/3	8:01	st. 21-11	小	1	0-B	中	10.1	14	7
3/3	8:04	st. 10-9	小	多	0-B	淡	10.1	17	4-7
3/3	9:53	大崎沖-st.1	小	1	B	淡	10.5	31	14
3/3	9:58	st. 1付近	小	多	B	淡	10.8	58	56
3/3	15:20	姫島水道付近	大	2	10-B	淡	10.0	24	4-14
3/4	10:40	st. 12-13	中	1	0-20	中	13.2	66	0-4
3/4	12:25 ~	st. 17手前	中	2	40-B	中	13.9	60-70	7-56
3/4	12:42 ~	st. 17-18	小、中	多	30-B	淡、中	14.0	67	7-28

* 反応水深のうち、Bは底

* 魚群の構成主体となった魚の体長(計量魚探により算出された推定体長cm)



【クラゲ分布】

調査定点上における目視観察では、別府湾および豊前海でアカクラゲが少数確認された。